

【評定の基準】
A:全て◎ B:全て○以上 C:1つでも△がある

【アンケートの評価基準】
◎:8割以上が肯定 ○:6割以上が肯定 △:6割未満が肯定
【アンケート】
4 たいへんよい 3 よい 2 あまりよくない 1 よくない

項目	小項目(重点目標)	評価指標及び目標値	評定	評価資料	評価	アンケート結果				学校による考察・改善方策
						4	3	2	1	
知・徳・体を育てる教育の推進	1 確かな学力を育てる教育の推進	(1) 教師は、学習課題を明確にし、学力向上を目指して、一人一人に応じた指導を中心に「分かる授業」の実践に努めているか。	A	児童アンケート	◎	94%	6%	0%	0%	保護者の4評定が昨年度より20%アップした。授業では、学習課題を立て、課題を解決するために、児童が自分の考えを持って学び、学習のまとめを大切にしている。また、少人数のよさを生かし、年間通じて学習進度に応じた朝ドリルや、放課後の補充学習等をして、一人一人の課題に応じたきめ細かな指導を積み重ね、基礎的・基本的な学習の定着を図っている。
			保護者アンケート	◎	94%	6%	0%	0%		
			教職員アンケート	◎	88%	13%	0%	0%		
		(2) 学校は、家庭と協力し、子供たちに家庭学習の習慣を身に付けさせているか。	A	児童アンケート	◎	78%	17%	6%	0%	今年度は児童の4評定が昨年度よりも20%アップした。学級担任は、児童一人一人について、学習内容の理解と定着を的確に把握し、家庭学習に必要な内容を具体的にアドバイスするよう心掛け、学習時間だけではなく、学習内容の充実が図られるように努めた。今後も保護者との連絡や相談を密にして、家庭学習の習慣化と内容の充実を図っていききたい。
		保護者アンケート	◎	63%	19%	19%	0%			
		教職員アンケート	◎	86%	14%	0%	0%			
		(3) 新聞や読書等を通じて、文章を読む習慣が身に付いているか。	B	児童アンケート	◎	61%	33%	6%	0%	毎週、月曜日に行っている読み語りでは、季節や年間行事等に合わせた素敵な絵本を取り上げてくださり、様々なジャンルの本に出会うきっかけをいただいている。みきゃん通帳を電子化し、児童一人一人の読書傾向を把握して指導に生かしている。今年度は、おすすめの本の紹介を児童全員と全教職員でリレーする活動を行った。1年生では、毎日読書を宿題にすることで、読書が家庭学習の一部となり習慣化しているので、継続していききたい。中・高学年の児童は、eスタ(愛媛新聞forスタディ)を学習に取り入れ、積極的に活用している。
		保護者アンケート	○	44%	19%	31%	6%			
		教職員アンケート	◎	57%	43%	0%	0%			
	2 豊かな心を育てる教育の推進	(1) 学校、家庭は、友達や先生、地域の方々などに心のこもった挨拶ができる児童を育てているか。	A	児童アンケート	◎	67%	33%	0%	0%	昨年度と比較して、保護者の4評定が37%上がった。新学期当初に、高学年の児童が翠っ子の挨拶や返事の様子について話し合ったところ、挨拶をする人が限られていたり、声が小さかったりするという課題が挙がった。そこで、4月の集会で「ハロー大作戦」と銘打って、心のこもった挨拶や返事の大切さを呼び掛けた。また、7月からは、1人1台端末を使って、頑張っている友達を毎朝投票できる仕組みをつくり、毎週金曜日の放送で投票結果を発表している。今後も、高学年児童による、自発的、自治的な提案と発信で心のこもった挨拶が定着するよう指導を続けていききたい。
				保護者アンケート	◎	81%	13%	6%	0%	
				教職員アンケート	◎	78%	22%	0%	0%	
		(2) 相手の立場を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性が育っているか。	A	児童アンケート	◎	56%	39%	6%	0%	道徳科の授業では、児童が教材を通して、自分が感じたことや考えたことを自覚できる時間を大切に、計画的に行っている。また、縦割り班活動、学校田での体験活動、ウサギの飼育、みどカンなど、本校の特色ある活動では、活動後の振り返りの時間を大切にするとともに、道徳科の授業との関連を図り、豊かな情操と道徳性が培われるようにしている。
		保護者アンケート	◎	69%	25%	6%	0%			
		教職員アンケート	◎	89%	11%	0%	0%			
		(3) 地域の人や自然など、自分の周りの事物に対して、感謝の気持ちをもって関わろうとする心が育っているか。	A	児童アンケート	◎	67%	33%	0%	0%	翠校区の自然や行事、地域の方々から学ぶ体験活動を中心とした教育活動を展開している。児童が活動する翠おこし協力隊は、翠地区のホテルを増やすために自分たちができることを考えた。ほたる保存会の方々や専門的な知見のある方に講師になっていただいで学び、学習が深まった。今後はますます校区外通学の児童の割合が増える。翠校区を誇りに思う気持ちや地域の方々への感謝の気持ちが児童に培われるよう、保護者と連携して指導していききたい。
		保護者アンケート	◎	73%	20%	7%	0%			
		教職員アンケート	◎	67%	33%	0%	0%			
3 健やかな体を育てる教育の推進	(1) 自分の心身の状態に関心をもち、健康を保つために食事、早寝早起き等に留意した規則正しい生活を実践しているか。	A	児童アンケート	◎	72%	28%	0%	0%	毎月の保健目標に合わせて掲示物を工夫したり、身長と体重を毎月計測したりして、自分の体や健康についての関心が高められるようにしている。また、夏休み、冬休み前には、学習や読書も含め、規則正しい生活を送ることを指導し、「頑張りカード」で毎日振り返りができるようにした。2割近くの保護者の評価がよくなかったことから、早寝早起きなど、子供の健やかな成長のために欠かせないので、今後も啓発をしていきたい。	
			保護者アンケート	◎	56%	25%	19%	0%		
			教職員アンケート	◎	38%	63%	0%	0%		
		(2) 外遊びや業間マラソン、なわとびなどで、目当てを立て、運動を楽しむとともに体力の向上を図ろうとしているか。	B	児童アンケート	◎	78%	22%	0%	0%	陸上大会や校内マラソン大会に向けて、陸上クラブの外部講師を招へいした。また、愛媛オレンジバイキングスの選手を招へいし、3年生以上の児童にバスケットを専門的に指導していただいた。プロ選手から学ぶことで、児童には大いに刺激になった。水泳・陸上練習、業間マラソン、なわとびなど年間通じて児童が意欲的に運動し、運動に親しむ児童を育成していききたい。
		保護者アンケート	○	50%	25%	25%	0%			
		教職員アンケート	◎	89%	11%	0%	0%			
	(3) 身の回りの整理整頓、正しい言葉づかい、時間を守ることなど、基本的な生活習慣が身に付いているか。	B	児童アンケート	◎	33%	56%	11%	0%	昨年度と変わらずB評定で評価が低い。6月の学校保健委員会には、愛媛県警から講師を招へいし、親子で情報モラルについて学んだ。ネットを使用する時には各家庭でルールを決めることや、フィルタリングを設定することの大切さを知り、改めて家族で話合いの場を持つ機会になった。児童の心身の健康は、正しい生活習慣が基盤となることから、各家庭の意識が更に高まるよう、これからも継続して手立てを講じていききたい。	
	保護者アンケート	○	25%	50%	25%	0%				
	教職員アンケート	◎	50%	38%	13%	0%				

項目	小項目 (重点目標)	評価指標及び目標値	評定	評価資料	評価	アンケート結果(%)				学校による考察・改善方策			
						4	3	2	1				
生徒指導・ 人権・同和教育・ 特別支援教育	4	生徒指導	(1)	子どもは親へ、親は子へ、積極的に話しかけ、互いの話を十分に聞いているか。	児童アンケート	◎	78%	11%	11%	0%	昨年度より児童の4の評価が増えている。親子のコミュニケーションは家族の絆を深めるだけでなく、子供の自己肯定感を育てると言われている。子供から話してきたタイミングを逃さず、相づちを打ちながらゆったりと話を聞いたり、親から今日の出来事を訊ねてみたり、休日には一緒に遊んだり、忙しい中でも、親子のコミュニケーションを積極的に確保していただきたい。		
					保護者アンケート	◎	56%	31%	13%	0%			
	(2)	学校は、「みどりの会」などで地域と生徒指導上の情報を共有し、連携して生徒指導にあたっているか。	教職員アンケート	◎	86%	14%	0%	0%	今年度は、5月に「みどりの会」を開催し、通学路の様子と、昨年度から児童が取り組んでいる「翠っ子愛顔のアイコバ～みどりの木～」について学校から説明をした。日々の登校指導等では、児童一人一人の様子を温かく見届けていただき、また、通学路の危険箇所についても細やかに連絡いただいている。今後も積極的に地域との連携を図り、児童の健全育成に努めたい。				
			児童アンケート	◎	89%	11%	0%	0%					
	5	人権・同和教育	(1)	自分のよさや他人のよさを認め合い、支え合う仲間づくりができているか。	保護者アンケート	◎	56%	44%		0%		0%	昨年度に作成した「翠っ子愛顔のアイコバ～みどりの木～」の実践を今年度も継続している。高学年の児童が「翠ホタレンジャー」に扮して発信することで、児童の意識が高まり、全員が肯定的評価となった。今後も、困っている友達がそばにいるときには声を掛け、互いに助け合い、また、友達や自分のよいところを積極的に見付けようとする児童を育てていきたい。
					教職員アンケート	◎	89%	11%		0%		0%	
6	特別支援教育	(1)	学校は、校内委員会を適宜開き、教職員の共通理解と協力体制のもと、適切な支援ができているか。	教職員アンケート	◎	100%	0%	0%		0%	日頃から、児童一人一人の学校生活の様子を教職員で話題に挙げ、生活上困っていることやその背景を考えたり、具体的な支援策を出し合ったりするなど、全教職員で児童理解に努めている。スクールカウンセラーや特別支援教育巡回相談員、また教育相談員とも積極的に連携を図っている。今後も、児童が自分のよさを生かし、成長するための適切な支援を継続していきたい。		
				児童アンケート	◎	89%	11%	0%		0%			
安全管理・ 施設設備	7	安心・安全な学校づくりの推進	(1)	学校は、校内及び通学路の安全点検や避難訓練を適切に実施し、地域とも協力して児童の安全確保に努めているか。	教職員アンケート	◎	100%	0%	0%	0%		徒歩で登校する児童の通学路を中心に、保護者から危険個所の情報をいただき、各箇所を警察、交通安全協会、スクールガードリーダー等と通学路点検を実施し、具体的な方策を立てて対応している。災害発生時に自らが判断し適切に行動できる児童を育てることをねらいとして、予告なし避難訓練を実施した。また、PTA、自主防災組織と連携し、文化財防衛訓練を地域の方々とともに進めることができた。	
					保護者アンケート	◎	100%	0%	0%	0%			
		(2)	学校は、施設・設備、教材・教具が効果的に活用され、環境整備に配慮しているか。	教職員アンケート	◎	78%	22%	0%	0%	今年度は、普通教室床の塗装工事と、防風扉の鍵の取付を行った。8月に、伊予市が行う定期監査が実施され、施設・設備、備品の活用について、適切に活用できていることが確認された。国が実施する「緑の募金」助成事業を活用し、150周年記念事業としてギンモクセイの樹勢回復工事と柵の改修工事、ギンモクセイとクスノキの剪定を行った。11月の完成記念式典には、多くの地域の方々も参加していただき、盛大に祝うことができた。			
				地域住民アンケート	◎	87%	13%	0%	0%				
8	教職員の資質と指導力の向上	(1)	教師は、授業改善に努め、その都度反省・評価をし、授業に生かそうとしているか。	教職員アンケート	◎	88%	13%	0%	0%		今年度は、各教科等において、児童と児童、児童と教師の対話を通して、児童一人一人が考えを深められる協働的な学習を実現し、考えや思いを的確に伝えたり、聞き取ったりすることができる児童の育成を目標として、教員研修を行った。全ての学級が互いに授業を公開し、授業後には、学習の進め方や指導・支援の工夫について成果と課題等を明確にし、日々の授業に生かした。		
				児童アンケート	◎	88%	13%	0%	0%				

項目	小項目 (重点目標)	評価指標及び目標値	評定	評価資料	評価	アンケート結果(%)				学校による考察・改善方策		
						4	3	2	1			
保護者・地域住民との連携	9	開かれた学校づくりの推進	(1)	学校は、公民館や老人会など、関係団体との連携に努めているか。	A	保護者アンケート	◎	93%	7%	0%	0%	春と秋のふるさと交流会では、公民館や老人会等と連携し、田植えやニュースポーツを通して地域の方々との交流することができた。7月には、開校150周年記念準備委員会を立ち上げた。令和5年度に行う記念行事等具体的な取組内容について準備を進めている。9月の運動会で、地域の方々に参加できる種目を実施し、令和5年度に開校150周年を迎えることを伝え、来年度に向けて機運を高めた。
					教職員アンケート	◎	89%	11%	0%	0%		
					地域住民アンケート	◎	82%	18%	0%	0%		
			A	学校は、学校(学年)だより、保健だより、PTA広報紙、ホームページなどで、学校の情報を積極的に発信しているか。	保護者アンケート	◎	100%	0%	0%	0%	学校ホームページは高い評価をいただいている。また、学校だより、学級だより、保健だより、図書だよりで、教育活動の発信に努めている。今年度はPTA広報紙を外注して制作した。初めての取組を計画的に進めていただいたPTA広報部に敬意を表したい。令和3年度のPTA広報紙は、県PTA連合会主催の審査で全国審査に進んだ。今後も伝統ある翠校の翠力を発信し、学校が地域全体の力となるように努めたい。	
					教職員アンケート	◎	100%	0%	0%	0%		
					地域住民アンケート	◎	83%	17%	0%	0%		
	A	(3)	学校は、個人情報適切に管理するとともに、その公開に対しては十分に配慮しているか。	保護者アンケート	◎	100%	0%	0%	0%	児童の個人情報の取り扱いについて、保護者に同意書を提出していただき、同意を受けた範囲内で、ホームページや学校だより等で情報を発信している。テレビや新聞等の外部機関において個人情報が公開される場合は、その都度保護者に連絡し、確認を取るようにしている。緊急時対応のため預かっている保護者の電話番号やメールアドレスについて、今後も管理を徹底していきたい。		
				教職員アンケート	◎	100%	0%	0%	0%			
				地域住民アンケート	◎	77%	23%	0%	0%			
	10	地域に根ざした特色ある教育活動の推進	(1)	学校は、地域の自然や文化、人材など地域資源を生かした体験活動を進めているか。	A	保護者アンケート	◎	100%	0%	0%	0%	感染症感染防止対策を講じながら、様々な体験行事を行っている。今年度は、本校を会場に行うぼたる祭りが3年ぶりに開催された。児童は、外部講師からホテルについて学んだり、伝統の相撲大会を引き相撲で取り組んだり、翠ソーランをステージで発表したりした。児童が地域をめぐる「みどりカントリーアドベンチャー」は、コースを一新して実施した。校区外から通う児童も、翠地区の自然や文化を知り、温かい地域の方々との触れ合い、わがふるさととして愛着を持つことができる体験活動にするために、教職員が積極的に地域に足を運び、翠地区について地域の方々から学んでいくようにしたい。
教職員アンケート					◎	100%	0%	0%	0%			
地域住民アンケート					◎	75%	25%	0%	0%			
学校関係者 評価委員の 総評		<p>翠小学校には、大規模校にはない良さがあり、子供たちは、恵まれた環境で学ぶことができる学校である。子供一人一人に教職員の目が行き届き、生活指導面でも学習指導面でも細やかな指導ができています。運動会や学習発表会での子供たちは、のびのびと立派にできていて、日頃の学びの成果が現われていると感じる。地域で出会う子供の挨拶は、大変素晴らしい。普段から、心の通い合う挨拶をする子供に育ててほしいと切に願っている。</p> <p>今年度の学校評価の結果では、学習習慣の定着について、子供たち自身の評価が高くなってきており、日頃から目標を持ち頑張っていることがうかがえる。一方、保護者の回答は、学習習慣の定着、新聞や読書等文章を読む習慣ともに、二極化していることが気になる。学校は、家庭学習の内容が充実するよう子供一人一人に具体的なアドバイスをしている。また、新聞や読書等文章を読む習慣が身に付くよう、学校の自習室では様々なジャンルの本を手にとることができるよう工夫が施してあったり、おすすめの本コーナーを設けたりと様々な取組を継続している。これらのことを保護者に積極的に発信し、全ての保護者の意識が高まるよう連携を図っていただきたい。</p> <p>健やかな体を育てるために、学校掲示の保健コーナーでは、毎月様々なテーマを取り上げられている。児童の評価は昨年度より良くなっており、自分の体や健康管理の興味、関心が高まっていることが分かる。運動を楽しむ児童の育成では、課題が見られ、体育科の時間だけではなく、昼休みや放課後等の時間も活用しながら運動に親しむ機会を設け、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質を培っていただきたい。</p> <p>地域の方からの回収率は74%と高水準を保つことができている。翠小学校の教育活動に注目していることが分かる。学校は、ますます充実した教育活動を展開し、子供一人一人をのびのびと育て、小学校で身に付けた力を基にして卒業後も活用できる力を身に付けさせてもらいたい。</p>										